

スポーツ振興局長の海外出張について

1 出張先

サンノゼ市（アメリカ合衆国・カリフォルニア州）

2 出張期間

平成23年5月20日（金）から同年5月24日（火）まで

3 出張目的

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、第43回世界体操選手権東京大会の東京開催が、国際体操連盟（FIG）評議員会において再評価されることとなったため、同評議員会に出席し、国際体操協会に対して東京開催の安全性を訴えるプレゼンを行う。

4 出張人数

佐藤副知事、スポーツ振興局職員2名 計3名

5 総経費

1,540,513円

6 出張先での行動

日 程	内 容
5月20日（金）	日本出発 現地到着 日本体操協会と打合せ 世界体操東京大会インフォメーションブース設営の応援 FIG会長、理事等に東京開催の再確認を説得交渉
5月21日（土）	世界体操東京大会インフォメーションブースにおいて東京をPR 理事・評議員等へ東京開催の説得交渉
5月22日（日）	世界体操東京大会インフォメーションブースにおいて東京をPR FIG評議員会にてプレゼンテーション 東京開催決定後のお礼と関係強化の挨拶
5月23日（月）	現地出発
5月24日（火）	日本到着

7 出張の成果

- FIG 理事会・評議員会会場であるサンノゼ市マリオットホテル・サンノゼにおいて、FIG グランディ会長やガイズビューラー事務総長、副会長、理事等、数多くの役員に対し、再検討が行なわれる評議員会の前に、個別に震災後の東京の現状と放射能に対する東京の安全性を PR し、東京開催の説得交渉をすることができた。また、評議員会の場でも、東京の安全性を強く評議員に訴えるプレゼンを実施した。その結果、本評議員会において、東京での開催を進めていくことと決定した。
- 国際体操連盟との交渉を通じて、お互いの信頼関係を構築することができた。



グランディ会長に対し説得交渉



評議員会での安全性を訴えるプレゼン